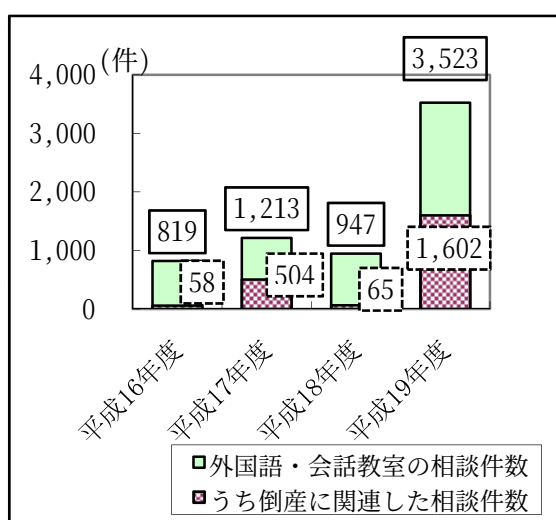


2 主な特徴

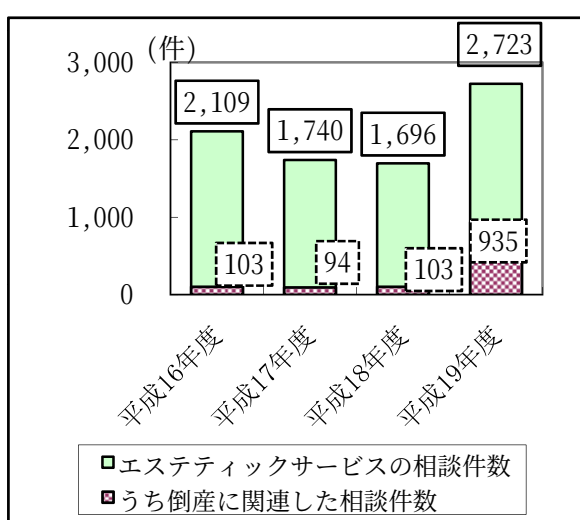
(1) 「外国語・会話教室」、「エステティックサービス」に関する相談

英会話教室やエステサロンの閉鎖や倒産が相次ぎ、長期契約をした消費者から「返金はされるのか」、「サービスは継続されるのか」等の相談が急増した。「外国語・会話教室」は、前年度の3.7倍にあたる3,523件の相談が寄せられ、そのうち45.5%が「倒産」に関連した相談であった。「エステティックサービス」では、前年度の1.6倍にあたる2,723件の相談が寄せられており、そのうち34.3%が「倒産」に関連した相談であった。いずれの相談も20～30歳代からの相談が多いのが特徴である(図-4～7)。

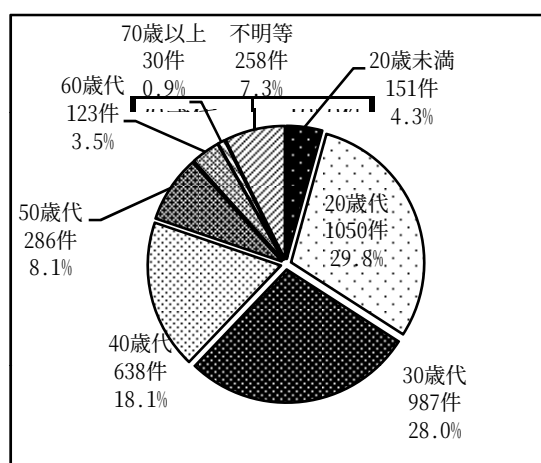
【図-4】外国語・会話教室の相談件数の推移



【図-5】エステティックサービスの相談件数の推移



【図-6】外国語・会話教室の相談契約当事者年代別割合(平成19年)



【図-7】エステティックサービスの相談契約当事者年代別割合(平成19年度)

